

第5回
自工会 二輪車委員会
メディアミーティング



2023年3月16日
一般社団法人日本自動車工業会
二輪車委員会

■ 委員長挨拶

■ 自工会が推進する『二輪車安全啓発活動』の取組み

■ ディスカッション

紹介

一般社団法人日本自動車工業会

副会長兼二輪車委員会 委員長

日高 祥博
和迩 健二

常務理事

ご挨拶

一般社団法人日本自動車工業会

副会長兼二輪車委員会 委員長 日高 祥博

本日の議題

■ 自工会在が推進する『二輪車安全啓発活動』の取組み

■ ディスカッション

～二輪車の重大事故撲滅に向け安全啓発活動で必要なこと～

一般社団法人日本自動車工業会 二輪車委員会

二輪車企画部会 安全教育分科会 飯田 剛

「二輪車産業政策ロードマップ2030」と「BIKE LOVE FORUM」(BLF)とは？



「**二輪車産業政策ロードマップ2030**」では、二輪車産業政策ロードマップ2020の継続課題、環境変化を踏まえた新規課題を踏まえ、**4つの政策課題と、11項目の実施策を設定し、2030年までに課題を達成することを目標**に取り組んでいきます。

政策課題1：安全視点



政策課題2：実用視点



政策課題3：環境視点



政策課題4：趣味視点



BIKE LOVE FORUM(BLF)とは、**世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造を目指すとともにバイク産業の振興、市場の発展等を図ることを目的とし、バイクに関わる企業・団体・地方公共団体等が核となり、利用者等も交え、関係者間で社会におけるバイクへの認知と受容、共存の在り方や、バイクの将来像等に関して真摯に議論し活動する取り組み**です。



「二輪車産業政策 ロードマップ2030」の自工会 安全教育領域の位置付け

ビジョン、ロードマップ2030 目標

ビジョン
(ありたき姿)

二輪車ならではの価値提供を通じ、人々の暮らしに「感動」を届け、
日本経済・社会と二輪市場の発展、雇用維持に貢献

世界に通用する素晴らしいバイク文化の創造とイメージ向上

ロードマップ
2030目標

社会への責務を遂行しつつ、2030年代初頭に向けて国内二輪市場を活性化

二輪車
ならではの
提供価値



社会へ
果たす責務

移動需要、モビリティが多様化する中で
手軽・快適でエコフレンドリーな移動・輸送を
支えるパーソナルな“生活の足”を提供
〈実用視点〉

人々の生活と価値観が多様化する中で
関連する趣味・娯楽と結びつきを深め
様々な“二輪車の楽しさ”を提供
〈趣味視点〉

2050年カーボンニュートラル
達成への貢献
〈環境視点〉

**技術・仕組みの両面から
2050年事故死者数ゼロを目指す**
〈安全視点〉

自工会 安全教育領域 実施施策と2030年ゴールイメージ…安全領域

政策課題

事故死者数ゼロ

政策課題の方向性

✓ **主体的に推進**

1. 実用・趣味利用の双方に向けた
安全運転啓発・教育

他団体と連携しながら推進

2. 安全装備の普及拡大

実施施策

- ① 一般ライダー向け安全運転教育の充実と啓発
- ② 二輪車利用高校生への安全運転教育の充実と体制強化
- ③ 二輪車利用事業者・通勤利用者への安全運転教育の強化
- ④ ヘルメットの適正着用、胸部プロテクターの着用推進
- ⑤ 運転に適したウェア、プロテクターの着用推進と啓発

2030年ゴールイメージ

2050年事故死者数ゼロを目指して

- **二輪事故死者数半減**
(2020年比 警察庁データ)
- **ヘルメット脱落による死亡事故半減**
(2020年比 警察庁データ)
- **胸部プロテクター有用性の認知度向上**

2030年に向けた推進スケジュール(イメージ)

各施策年度毎のPDCA管理を実施
適宜見直し・追加等を行いながら推進

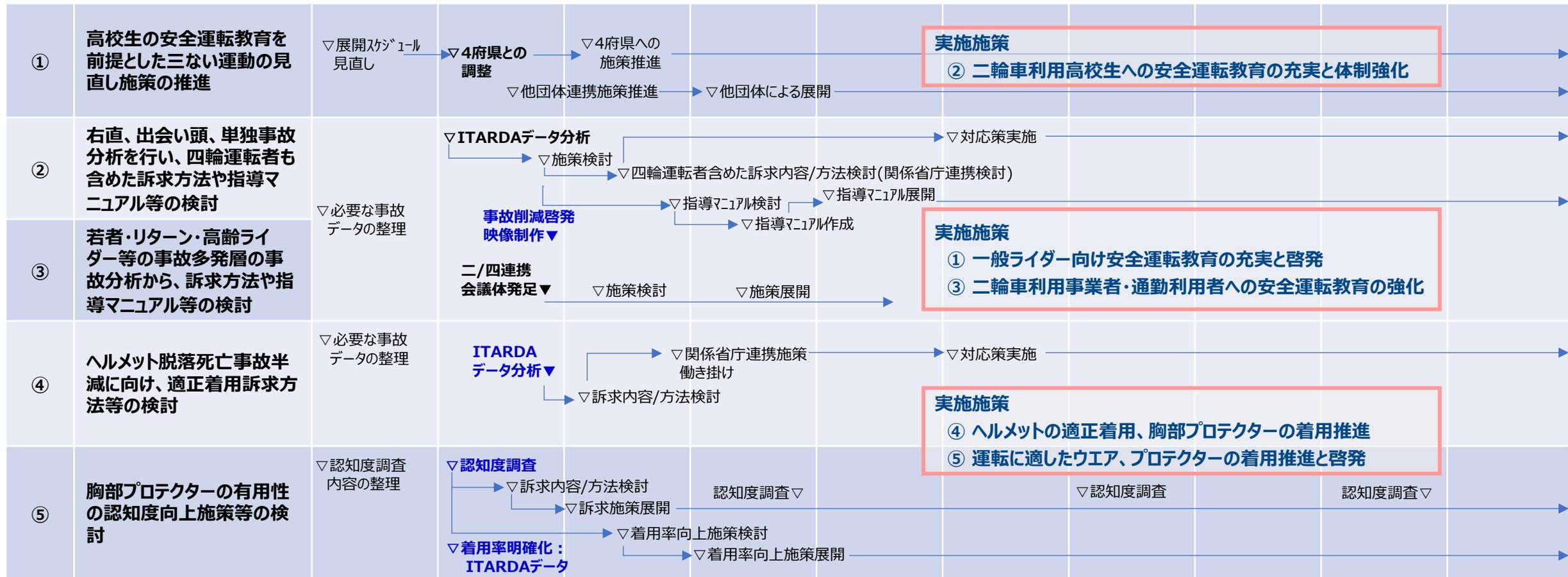
基準：2020年二輪事故死者数 526人（自二:385人 原付:141人）

※死者数▲25%

※死者数▲50%

優先順	施策	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
■	安全領域ゴール達成に向けた二輪事故死者数の目標 (イメージ▲5%/年)	達成目標 : 500人 実績 : 463人 ▲12%	達成目標 : 473人 実績 : 435人 ▲23%	達成目標 : 447人	達成目標 : 421人	達成目標 : 395人	達成目標 : 369人	達成目標 : 342人	達成目標 : 316人	達成目標 : 289人	達成目標 : 263人

※事故死者数は年度ではなく年末



毎年度毎のPDCA管理を実施
見直し・追加等を行いながら推進

基準：2020年二輪事故死者数

※死者数▲50%

優先順	施策	2021年度	2022年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
■	安全領域ゴール達成に向けた二輪事故死者数の目標 (イメージ▲5%/年)	達成目標 : 500人 実績 : 463人 ▲12%	達成目標 : 実績 :	達成目標 : 369人	達成目標 : 342人	達成目標 : 316人	達成目標 : 289人	達成目標 : 263人



技術

安全技術

①	高校生の安全運転教育を前提とした三不運動の見直し施策の推進	▽展開スケジュール見直し	→ 4府県との調整 ▽他団体	実施施策	② 二輪車利用高校生への安全運転教育の充実と体制強化
---	-------------------------------	--------------	-------------------	------	----------------------------

**2050年二輪車事故死者数“ゼロ”を目指し
2030年二輪車事故死者数“半減”達成**



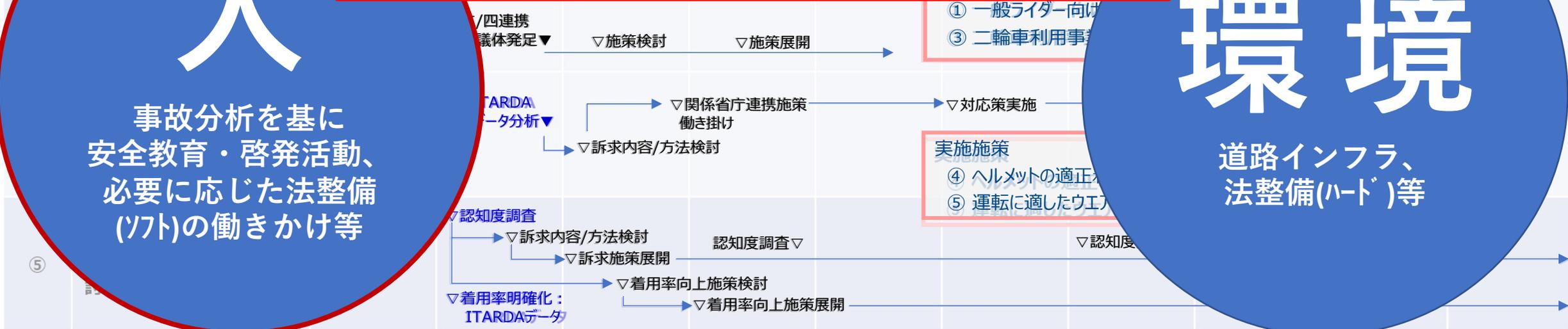
人

事故分析を基に
安全教育・啓発活動、
必要に応じた法整備
(ソフト)の働きかけ等



環境

道路インフラ、
法整備(ハード)等

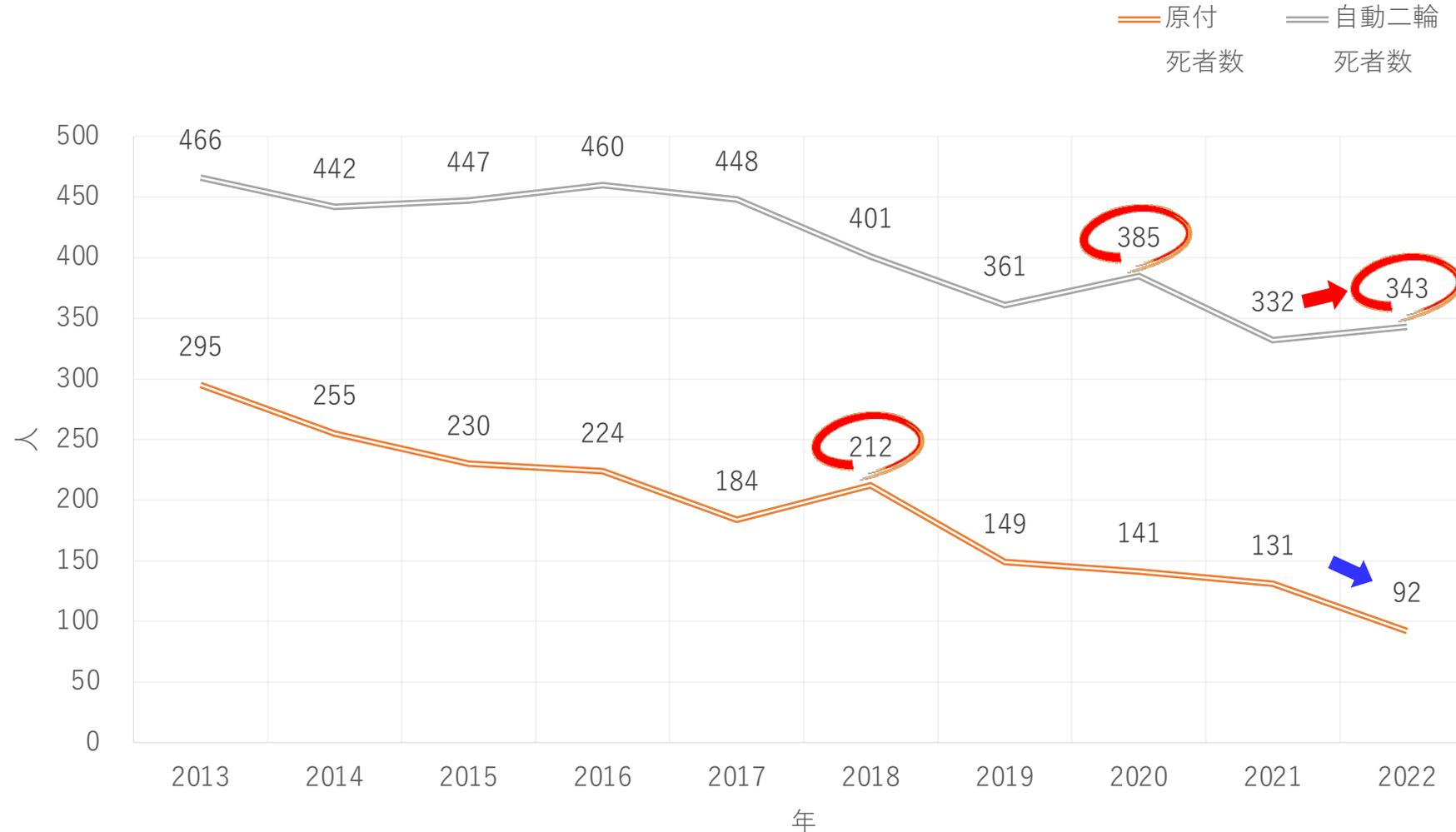


～ 2022年度の自工会 安全教育領域の取り組み紹介 ～

- ① 胸部プロテクター認知度、保有率、着用率調査結果
- ② ヘルメット離脱率削減に向けた取り組み
- ③ 高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し施策
- ④ 二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作

二輪死者数推移

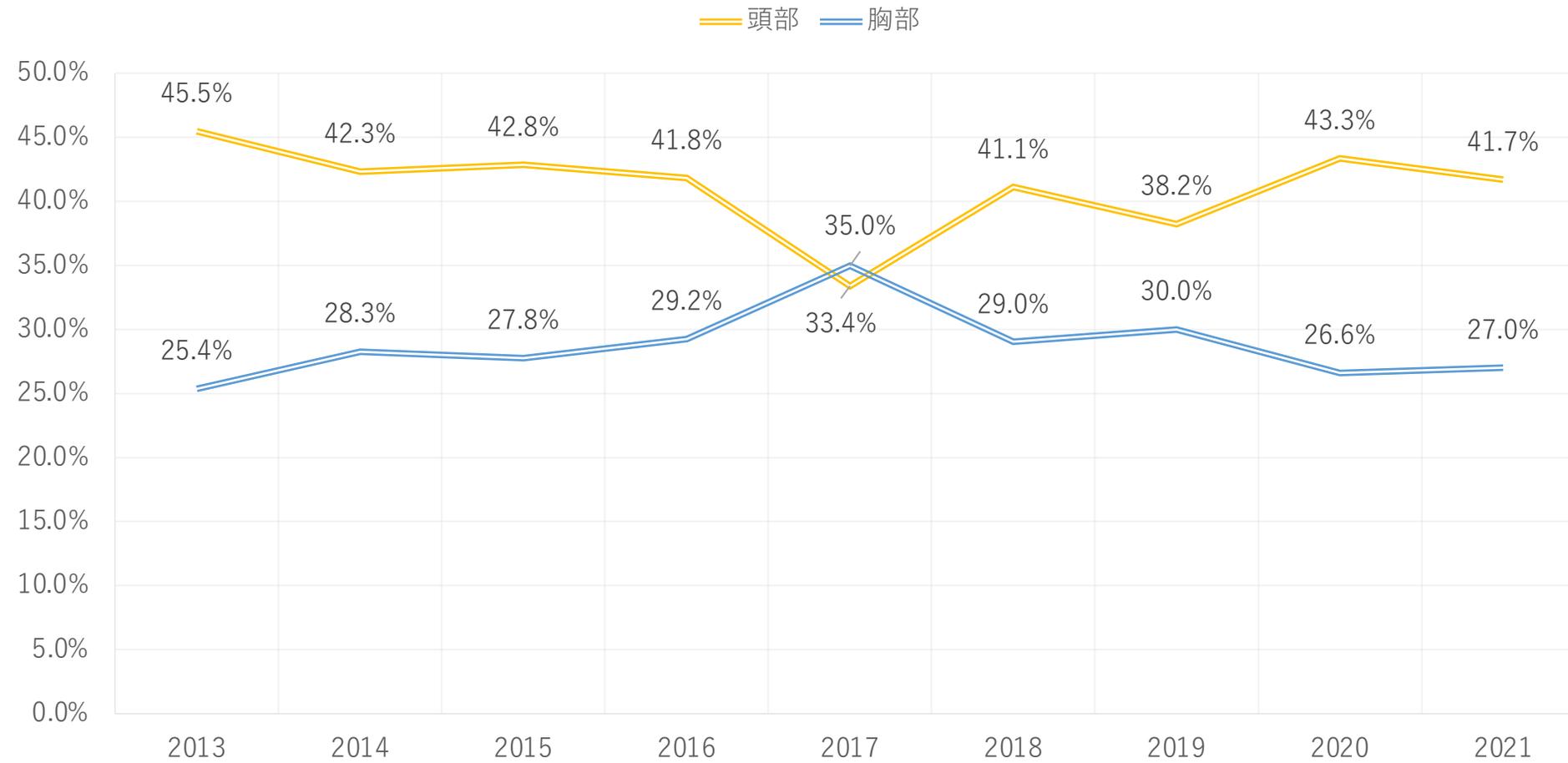
出典：ITARDAデータ



- ・二輪車計では、順調に死者数は減少。しかし2022年 435人の尊い命が失われている
- ・車種別で見ると、原付は39人減だが、自動二輪は11人増となる

出典：ITARDAデータ

損傷主部位別死者数



・損傷主部位は、頭部と胸部により7割前後の命が失われている
頭と胸部を守る対策が必要

～ 2022年度の自工会 安全教育領域の取り組み紹介 ～

- ① 胸部プロテクター認知度、保有率、着用率調査結果
- ② ヘルメット離脱率削減に向けた取り組み
- ③ 高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し施策
- ④ 二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作

胸部プロテクター調査概要

(1) 調査目的

「二輪車産業政策ロードマップ2030」において定められた二輪事故死者数半減という安全領域のゴール目標達成のため、現状の胸部プロテクターの認知度調査を実施し、胸部プロテクターの普及拡大と認知向上を目指す。

(2) 調査設計

(1)調査手法	インターネットモニターWEB調査																																																																																																														
(2)調査対象者・回収数	全国16～79歳の男女 1,700s																																																																																																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>kΩ17歳</th> <th>kΩ17歳</th> <th>kΩ17歳</th> <th>kΩ17歳</th> <th>kΩ17歳</th> <th>17歳</th> <th>17歳</th> <th>17歳</th> <th>mm</th> <th>mm</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>16+ 29</th> <th>30+ 39</th> <th>40+ 49</th> <th>50+ 59</th> <th>60+ 79</th> <th>16+ 29</th> <th>30+ 49</th> <th>50+ 79</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2歳①(休)監 ②+ ③+</td> <td>獣1点咬儀倍器28日 50ccA217</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>200</td> <td rowspan="4">1400</td> </tr> <tr> <td>猫ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)</td> <td>36</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>11</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>猿儀孫in\儀倍(400cc)</td> <td>80</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>55</td> <td>46</td> <td>46</td> <td>483</td> </tr> <tr> <td>獨①九in\儀倍(400cc)</td> <td>76</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">寄亮①(休)監 ②+ ③+</td> <td>獣ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>55</td> <td rowspan="3">200</td> </tr> <tr> <td>猫儀孫in\儀倍(400cc)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>猿①九in\儀倍(400cc)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td colspan="2">佚①(休)監②+ ③+</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>			kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	17歳	17歳	17歳	mm	mm			16+ 29	30+ 39	40+ 49	50+ 59	60+ 79	16+ 29	30+ 49	50+ 79			2歳①(休)監 ②+ ③+	獣1点咬儀倍器28日 50ccA217	32	32	32	32	32	14	14	12	200	1400	猫ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)	36	64	64	64	64	11	16	20	339	猿儀孫in\儀倍(400cc)	80	64	64	64	64	55	46	46	483	獨①九in\儀倍(400cc)	76	64	64	64	64	14	18	14	378	寄亮①(休)監 ②+ ③+	獣ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)	10	10	10	10	10	2	1	2	55	200	猫儀孫in\儀倍(400cc)	11	11	11	11	11	12	11	10	88	猿①九in\儀倍(400cc)	11	11	11	11	11	0	2	0	57	佚①(休)監②+ ③+		16	16	16	16	16	7	7	6	100	100
		kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	kΩ17歳	17歳	17歳	17歳	mm	mm																																																																																																				
		16+ 29	30+ 39	40+ 49	50+ 59	60+ 79	16+ 29	30+ 49	50+ 79																																																																																																						
2歳①(休)監 ②+ ③+	獣1点咬儀倍器28日 50ccA217	32	32	32	32	32	14	14	12	200	1400																																																																																																				
	猫ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)	36	64	64	64	64	11	16	20	339																																																																																																					
	猿儀孫in\儀倍(400cc)	80	64	64	64	64	55	46	46	483																																																																																																					
	獨①九in\儀倍(400cc)	76	64	64	64	64	14	18	14	378																																																																																																					
寄亮①(休)監 ②+ ③+	獣ス九策野儀孫in\儀倍(125cc)	10	10	10	10	10	2	1	2	55	200																																																																																																				
	猫儀孫in\儀倍(400cc)	11	11	11	11	11	12	11	10	88																																																																																																					
	猿①九in\儀倍(400cc)	11	11	11	11	11	0	2	0	57																																																																																																					
佚①(休)監②+ ③+		16	16	16	16	16	7	7	6	100	100																																																																																																				
												12%																																																																																																			
												6%																																																																																																			
(3)対象者抽出方法	インターネット調査モニターより調査対象条件該当者を抽出																																																																																																														
(4)調査期間	2022年7月13日（水）～ 2022年7月21日（木）																																																																																																														

- ① 2歳①(休)監②+ ③+ ④+ 2歳際 in\kV適器28日(至)蝨(祭)至(二)特+
- ② 寄亮①(休)監②+ ③+ ④+ 寄亮②in\kV適器28日(名)至(至)蝨(祭)至(二)監(日)②(十)口特+ 1点咬儀倍器28日②③心15日
- ③ 佚①(休)監②+ ③+ ④+ in\kVs誓儀倍器②fm(祭)至(二)②(二十九)監②+ in\kV適器28日(名)監(日)②(十)②(二) 認(水)蝨(監)日②(十)②(二)



[こちら](#)

胸部プロテクター認知状況

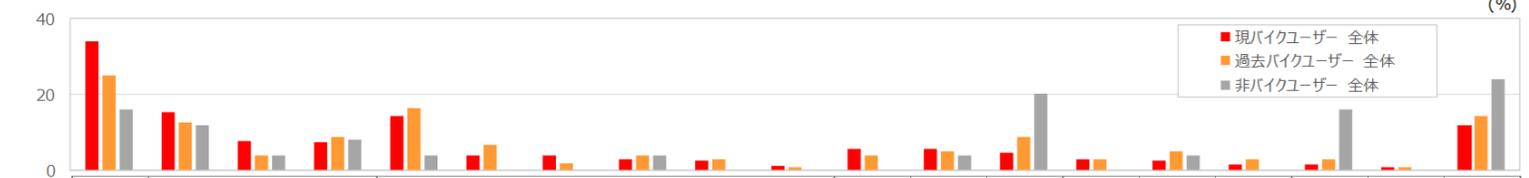
胸部プロテクター認知率

	n=	(%)			認知・計
		知っている	何となく知っている	知らない	
現バイクユーザー 全体	(1400)	47.4	27.6	25.0	75.0
男性 計	(1120)	48.6	27.6	23.8	76.2
女性 計	(280)	42.5	27.9	29.6	70.4
男性16-29歳	(224)	60.3	22.8	17.0	83.0
男性30-39歳	(224)	49.1	26.8	24.1	75.9
男性40-49歳	(224)	46.9	31.3	21.9	78.1
男性50-59歳	(224)	50.4	25.9	23.7	76.3
男性60-79歳	(224)	36.2	31.3	32.6	67.4
女性16-29歳	(94)	58.5	27.7	13.8	86.2
女性30-49歳	(94)	36.2	30.9	33.0	67.0
女性50-79歳	(92)	32.6	25.0	42.4	57.6
過去バイクユーザー 全体	(200)	29.0	23.0	48.0	52.0
非バイクユーザー 全体	(100)	6.0	19.0	75.0	25.0

※認知・計・・・「知っている」+「何となく知っている」の合計

<認知経路>

Q14 (1) 二輪車用胸部プロテクターを最初に知ったのは、どのような情報からでしょうか。(1つだけ) 【二輪車用胸部プロテクター認知者】



	n=	二輪車教習所	店頭・計	二輪車販売店の店頭	二輪車グッズ・用品販売店の店頭	WEB・SNS・計	Webサイトでのバイク関連の記事や広告	二輪車販売店のWebサイト	YouTubeなど動画サイト	二輪車グッズ・用品販売店のWebサイト	バイク専門家や詳しい人などのSNSやブログ	講習会などに参加して	バイク雑誌の記事や広告	知人や友人	胸部プロテクターを着用している人を見て	TV番組	カタログ、パンフレット	レースを見て	その他	わからない/特にな
現バイクユーザー 全体	(1050)	33.8	15.1	7.7	7.4	14.3	4.0	3.9	3.0	2.4	1.0	5.7	5.7	4.8	2.9	2.5	1.4	1.4	0.7	11.7
男性 計	(853)	31.5	14.8	7.3	7.5	15.8	4.6	4.5	3.2	2.6	1.1	6.0	5.6	4.2	3.2	2.7	1.5	1.6	0.5	12.5
女性 計	(197)	43.7	16.8	9.6	7.1	7.6	1.5	1.5	2.0	1.5	1.0	4.6	6.1	7.1	1.5	1.5	1.0	0.5	1.5	8.1
男性16-29歳	(186)	52.2	8.1	7.0	1.1	14.0	2.7	5.9	3.8	0.5	1.1	4.8	1.6	4.8	1.6	0.5	0.5	0.5	0.0	11.3
男性30-39歳	(170)	39.4	5.9	4.1	1.8	17.6	3.5	7.1	3.5	2.4	1.2	8.8	1.2	4.7	3.5	1.8	2.4	0.6	1.2	12.9
男性40-49歳	(175)	28.0	22.3	6.9	15.4	17.7	6.9	2.9	4.6	2.9	0.6	5.1	4.0	3.4	2.3	2.9	0.6	1.7	0.0	12.0
男性50-59歳	(171)	21.1	17.5	5.8	11.7	16.4	5.3	2.9	2.3	4.7	1.2	6.4	9.4	4.1	4.1	3.5	1.2	2.9	0.0	13.5
男性60-79歳	(151)	13.2	21.2	13.2	7.9	13.2	4.6	3.3	1.3	2.6	1.3	4.6	13.2	4.0	4.6	5.3	3.3	2.6	1.3	13.2
女性16-29歳	(81)	59.3	11.1	8.6	2.5	9.9	0.0	1.2	4.9	1.2	2.5	3.7	2.5	3.7	2.5	0.0	1.2	0.0	2.5	3.7
女性30-49歳	(63)	44.4	14.3	6.3	7.9	6.3	3.2	1.6	0.0	1.6	0.0	6.3	1.6	12.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	12.7
女性50-79歳	(53)	18.9	28.3	15.1	13.2	5.7	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	3.8	17.0	5.7	1.9	5.7	1.9	1.9	0.0	9.4
過去バイクユーザー 全体	(104)	25.0	12.5	3.8	8.7	16.3	6.7	1.9	3.8	2.9	1.0	3.8	4.8	8.7	2.9	4.8	2.9	2.9	1.0	14.4
非バイクユーザー 全体	(25)	16.0	12.0	4.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	0.0	4.0	0.0	16.0	0.0	24.0

n=30以上の場合 現バイクユーザー全体より、10.0 : 10p以上高い 5.0 : 5p以上高い 10.0 : 10p以上低い 5.0 : 5p以上低い ※現バイクユーザー全体で降順(計含む大項目)

- ・認知率は75%だが、現バイクユーザーにも知らない人が一定数いる
- ・認知経路を見ると教習所、店頭、Web・SNSと続き年齢層により認知経路は異なる
- ・若年層は圧倒的に教習所からの認知が占める

胸部プロテクター認知・保有・装着状況

<バイク総乗車経験年数別にみた二輪車用胸部プロテクターの認知と保有・着用>

Q13 あなたは二輪車用胸部プロテクターを知っていますか。
(1つだけ)

Q17 あなたは、二輪車用胸部プロテクターを持っていますか。
(1つだけ)

Q29 あなたは二輪車用胸部プロテクターを、どの程度装着していますか。
(1つだけ)

		n=			認知 ・計	
		知っている	何となく 知っている	知らない		
現バイクユーザー 全体		(1400)	47.4	27.6	25.0	75.0
総乗車 経験年 数別	1年未満	(111)	44.1	30.6	25.2	74.8
	1~2年間	(113)	52.2	31.0	16.8	83.2
	3~5年間	(152)	57.2	26.3	16.4	83.6
	6~9年間	(145)	53.1	28.3	18.6	81.4
	10~19年間	(354)	48.0	24.3	27.7	72.3
	20~29年間	(255)	39.6	30.2	30.2	69.8
	30~39年間	(148)	48.0	26.4	25.7	74.3
	40年以上	(122)	40.2	28.7	31.1	68.9

※認知・計・・・「知っている」+「何となく知っている」の合計

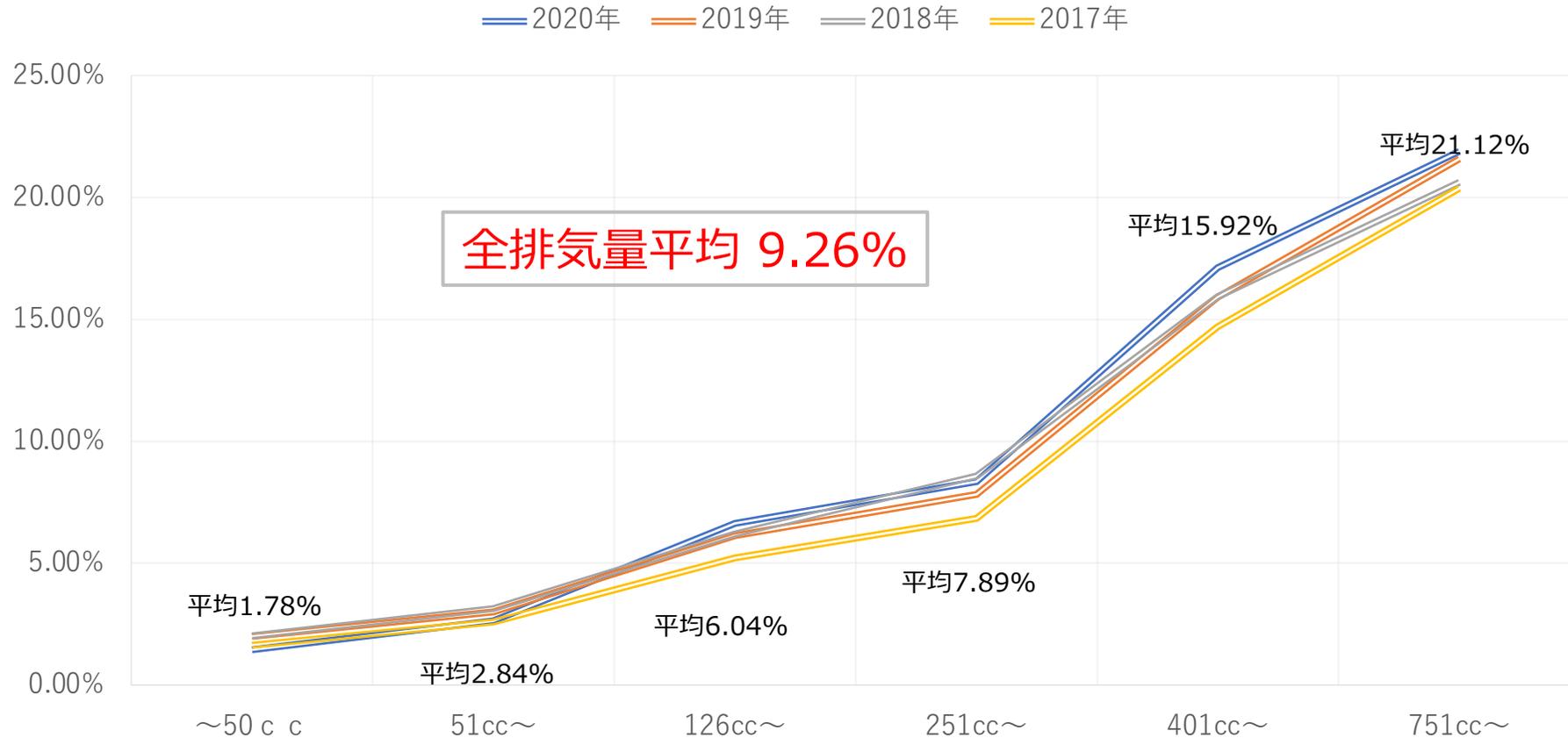
		【現バイクユーザー】				認知 ・計	
		現在、持っ ている	過去に持っ ていた	必要性は 感じるが 持っていない	持つ必要を 感じない		
現バイクユーザー 全体		(1400)	18.1	3.6	48.9	29.3	75.0
総乗車 経験年 数別	1年未満	(111)	18.0	4.5	48.6	28.8	74.8
	1~2年間	(113)	23.9	5.3	50.4	20.4	83.2
	3~5年間	(152)	22.4	3.9	49.3	24.3	83.6
	6~9年間	(145)	23.4	5.5	49.7	21.4	81.4
	10~19年間	(354)	19.2	4.5	46.0	30.2	72.3
	20~29年間	(255)	11.0	1.2	54.5	33.3	69.8
	30~39年間	(148)	19.6	3.4	45.3	31.8	74.3
	40年以上	(122)	11.5	1.6	47.5	39.3	68.9

		【二輪車用胸部プロテクター保有経験者】				着用 ・計	
		必ず装着 している	時々装着 している	ツーリング時 のみ装着して いる	ほとんど装着 しない		
現バイクユーザー 全体		(305)	50.8	26.9	14.4	7.9	92.1
総乗車 経験年 数別	1年未満	(25)	56.0	20.0	12.0	12.0	88.0
	1~2年間	(33)	63.6	15.2	18.2	3.0	97.0
	3~5年間	(40)	52.5	27.5	12.5	7.5	92.5
	6~9年間	(42)	45.2	31.0	16.7	7.1	92.9
	10~19年間	(84)	46.4	38.1	10.7	4.8	95.2
	20~29年間	(31)	48.4	25.8	12.9	12.9	87.1
	30~39年間	(34)	52.9	20.6	17.6	8.8	91.2
	40年以上	(16)	50.0	6.3	25.0	18.8	81.3

※着用・計・・・「必ず装着している」+「時々装着している」+「ツーリング時のみ装着している」の合計

- ・認知75%に対し保有は18%に留まる、しかし約50%が必要性を感じている
- ・装着状況を見ると90%以上が状況に応じて着用している
- ・保有してもらえば装着率も上昇すると考える

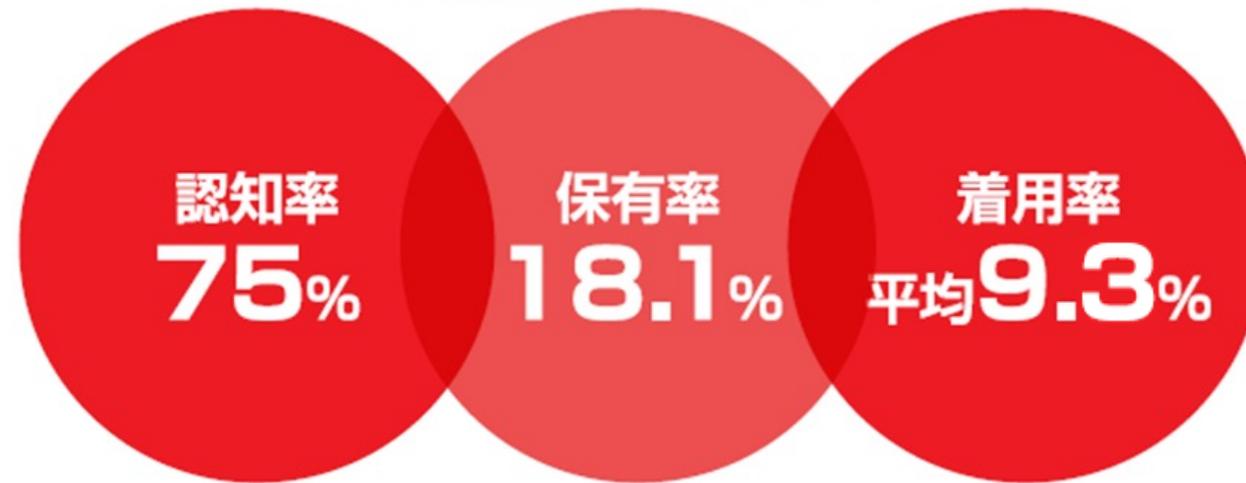
胸部プロテクター着用率



元データ：ITARDAデータ ※自工会調べ

- ・排気量が大きくなるに比例し着用率は増加。全排気量平均は9.3%程度の着用率
- ・小さな排気量のバイクのライダーに着用を促すことが必要

二輪車用胸部プロテクター



【自工会の役割】

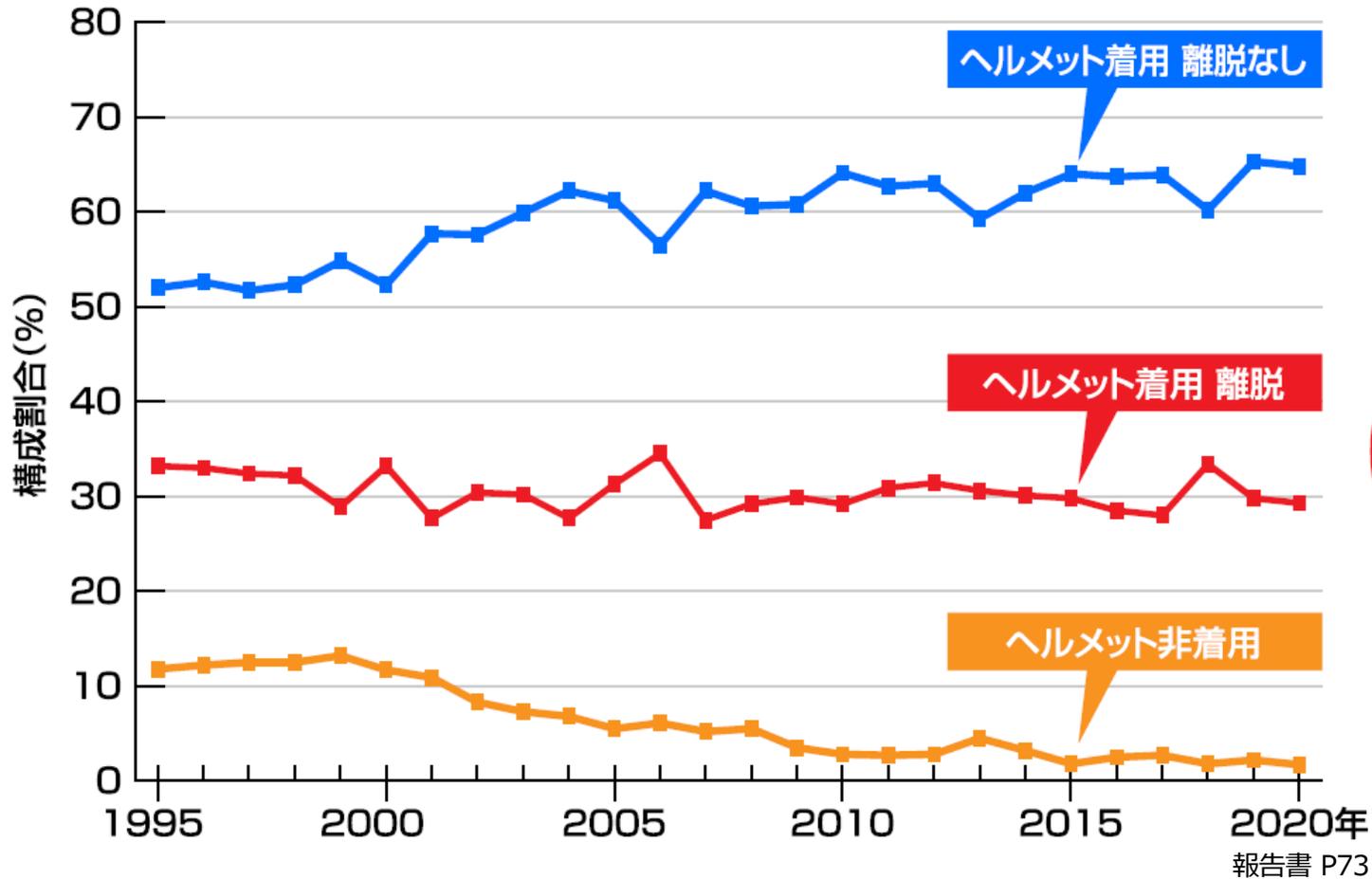
- ・今回の調査結果をBLF加盟団体にも共有し、協働して着用率向上に向けた施策を推進しながら定点観測を実施
- ・認知率・保有率・着用率向上に向け各種啓発活動を推進する

～ 2022年度の自工会 安全教育領域の取り組み紹介 ～

- ① 胸部プロテクター認知度、保有率、着用率調査結果
- ② **ヘルメット離脱率削減に向けた取り組み**
- ③ 高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し施策
- ④ 二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作

ヘルメット着用離脱率

【二輪車全体の死者数のヘルメット着用構成割合推移(1995年~2020年)】



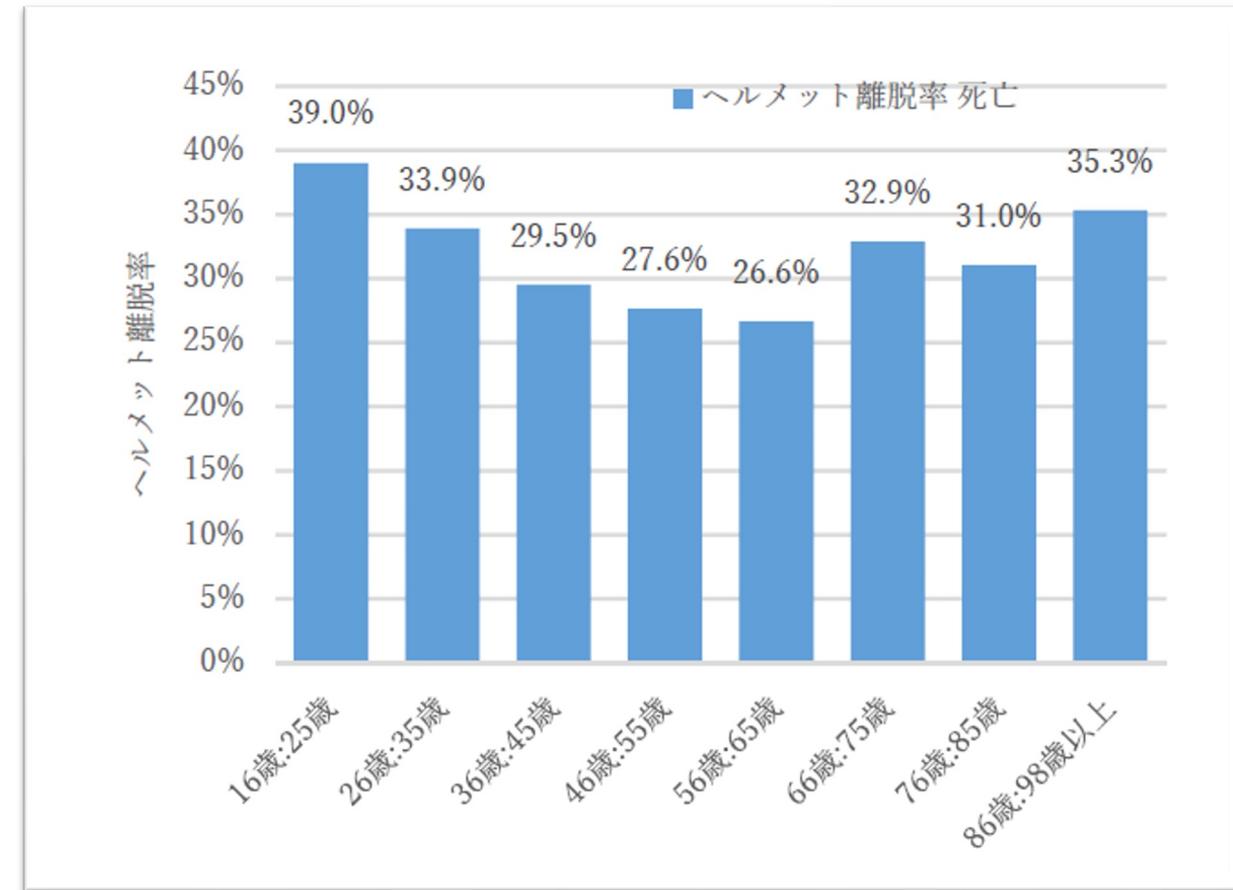
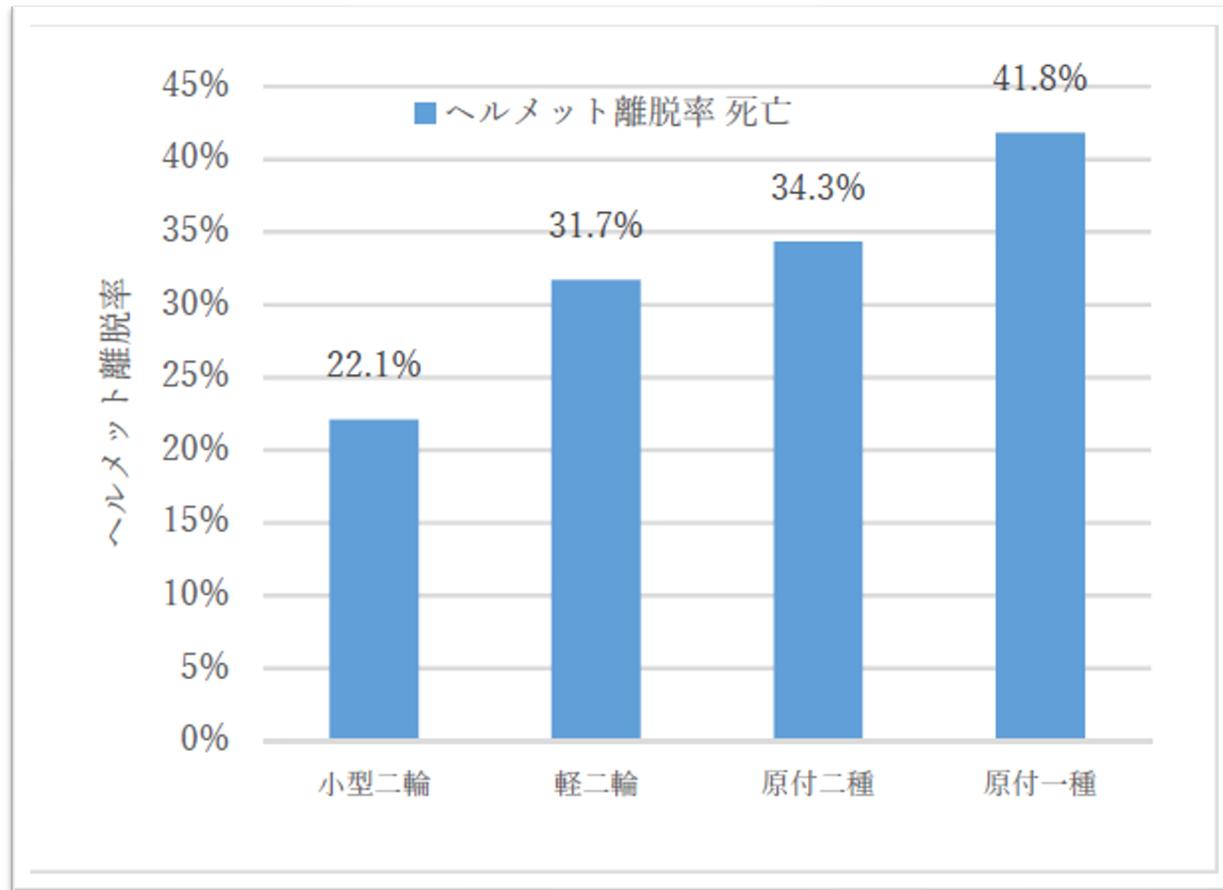
報告書 P73

		自動二輪	原付	計
2021年	離脱	88人	44人	132人
	死者数	332名	131人	463人
	離脱率	26.5%	33.6%	28.5%
2022年	離脱	88人	27人	115人
	死者数	343人	92人	435人
	離脱率	25.7%	29.3%	26.4%

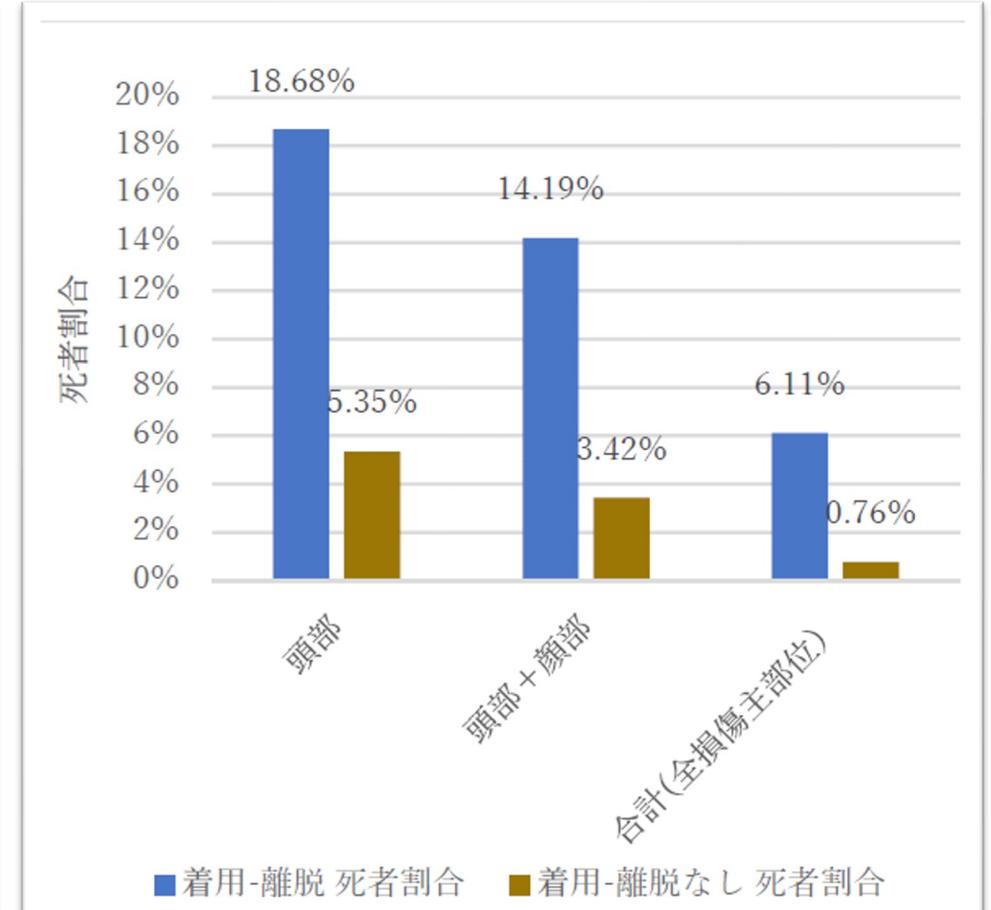
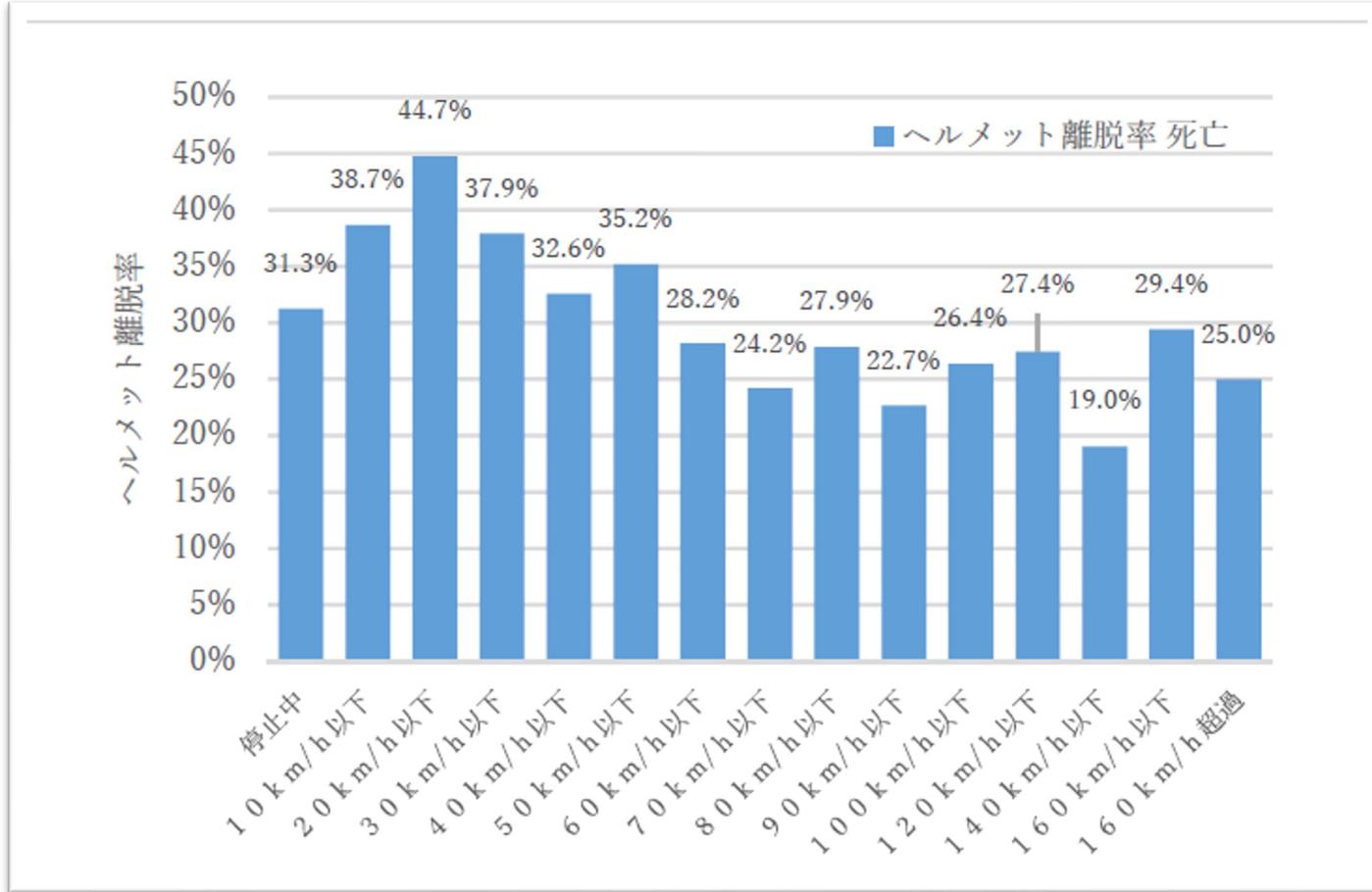
二輪車死亡事故のうちヘルメット離脱割合が
30%前後で推移

出典：ITARDA 二輪車事故の特徴分析による事故・死傷者数の低減研究 2022年3月発行

25年間、二輪車死亡事故の3割前後のヘルメット離脱が続く



- ・排気量が小さなバイク程、離脱率が上昇
- ・年齢層別にみると若干若年層が高いが、全年齢で離脱している



- ・危険認知速度が高いほど離脱率が高くなる訳ではなく、低速域での離脱率が高い
- ・頭部損傷でヘルメット離脱無しの死者割合5.35%に対し、離脱時は18.68%に大幅に上昇する。頭部+顔部で見ても3.42%に対し14.19%。ヘルメットが離脱しない対策が重要

もしヘルメットが離脱しなかったら…推算

条件:

2020年のマクロデータから年間での削減効果を算出する。

1. 二輪車での死者数	:	526人
2. そのうちヘルメット着用-離脱の死者数	:	154人
3. ヘルメット「着用-離脱」かつ「頭部」損傷の死者数	:	87人
4. ヘルメット「着用-離脱」かつ「顔部」損傷の死者数	:	4人
5. ヘルメット「着用-離脱」のリスク比	:	3.49 ~ 4.15 (5-2 (5)より)

推算:

上記の3. 4. の「着用-離脱」のうち「頭部」と「顔部」が人身損傷主部位による死者合計 91 人のうちリスク比に応じ「着用-離脱なし」になる人数は、

$$91 \times (1 - 1/3.49) = 64.9$$

$$91 \times (1 - 1/4.15) = 69.1$$

となり、64人～69人と算出された。

結果:

2020年の死者数 526人から、457～462人へ削減される可能性を示す結果となり、削減割合としては、12-13%の減少に相当することになる。

この推算では、仮定の良否やその条件を満たす手段の実現性など多くの課題が考えられる。しかしながら、長きにわたり変動が見られないヘルメット「着用-離脱」割合の低減が死者削減に対し重要な因子の一つであると考えられる上で、その影響度を想定するための推算結果であることとご理解いただきたい。

報告書 P82

・二輪車死亡事故のヘルメット離脱率が25年間3割前後ある中でヘルメット離脱防止策は重要課題

・左記は推算ではあるものの、ヘルメット離脱防止策が二輪車死亡事故削減には大きな効果があることを示す

【今後の取り組み方向性】

二輪車関係団体、関係省庁などと連携しヘルメット離脱防止策の推進を図る

～ 2022年度の自工会 安全教育領域の取り組み紹介 ～

- ① 胸部プロテクター認知度、保有率、着用率調査結果
- ② ヘルメット離脱率削減に向けた取り組み
- ③ **高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し施策**
- ④ 二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作

■ 自工会が取り組む意義

1-1 高校生に二輪車安全運転教育を推進する意義

わが国の交通安全基本計画では、多くの関係省庁に役割と責任があり、文部科学省には学校における交通安全教育の実践を促す責務がある。二輪車に関して、学校が表面的・形式的でない安全運転教育を行うには、警察をはじめとした交通安全関係機関・団体と連携し、交通の具体的な場面を想定し、実技を伴った講習を行うことで、より実践的な教育効果が得られると期待されている。

二輪車メーカーおよび二輪車関係団体は、若者から高齢者まで広く一般の二輪車ユーザーに対して日ごろから安全運転普及活動を行っている。そのノウハウは、高校の安全運転教育の現場に活かせるものであり、その活動を積極的に行うことは、わが国の交通安全基本計画に基づき求められる二輪車業界の重要な役割である。



二輪車業界の責務として、二輪車に乗車しているすべての高校生の命を守るために安全運転教育を届けたい。



1. 「三ない運動」を撤廃し、「乗せて教育」を広めたい。



2. 高校生の権利を認め、二輪車免許取得を自由なものにしたい。



3. 二輪車通学を可能にし、高校生の通学環境を良好なものにしたい。

■ 三ない運動を見直す理由

「三ない運動」の弊害

- ① 隠れ乗りをしている生徒がおり、交通事故や交通違反を起こしている実態がある。
- ② 隠れ乗りの生徒には、安全運転教育を届ける術がない。
- ③ 「三ない運動」を実施している多くの学校は、二輪車の安全運転教育は不要と考えている。

■ 目指すべき安全運転教育の在り方

1

「道路交通法」に則って、生徒が運転免許を取得できるようになる。

2

二輪車免許の取得と乗車は、生徒と保護者の意思に委ねる。

3

隠れ乗りがなくなり、二輪車免許保有者を学校が把握できるようになる。

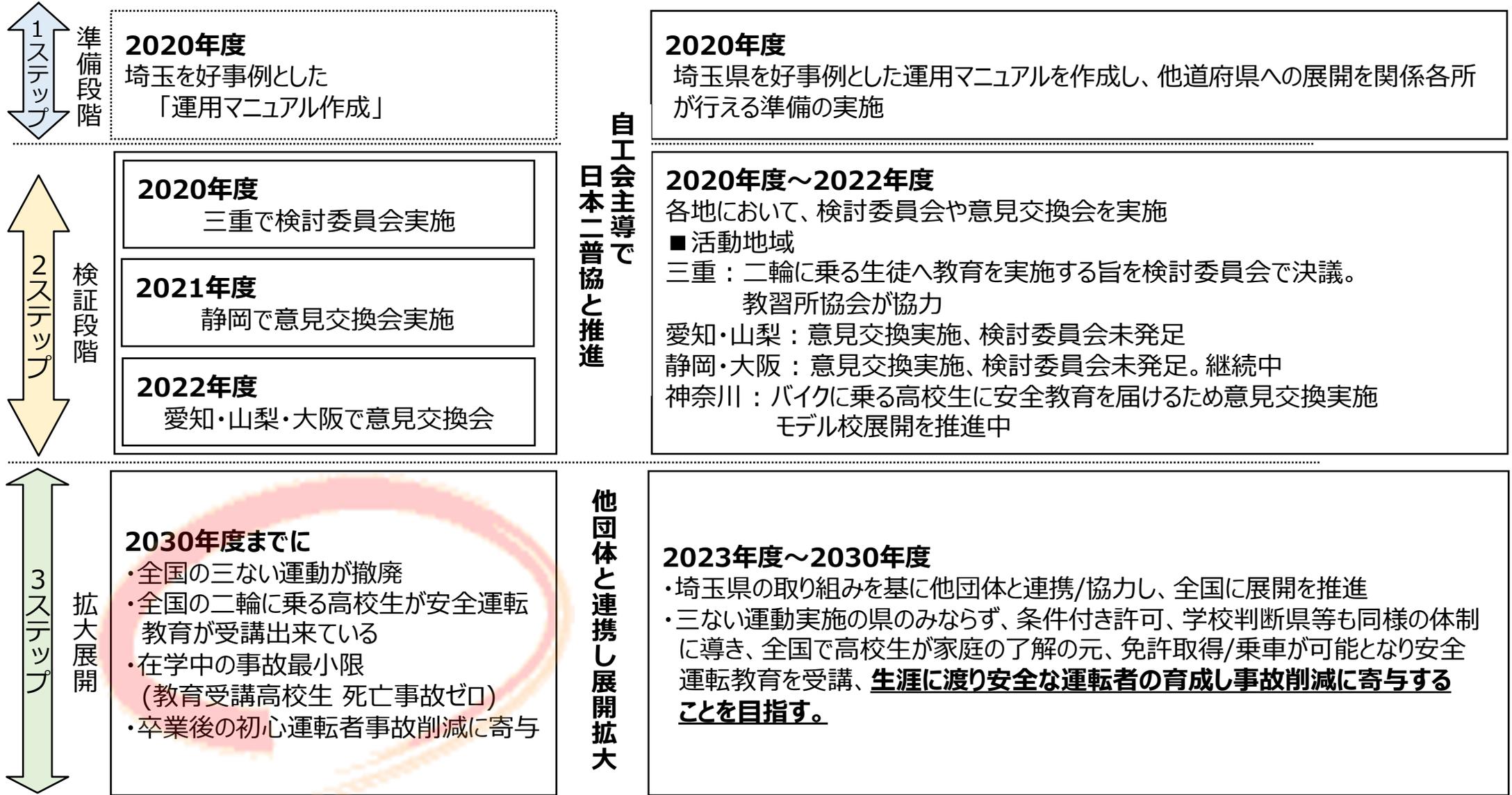
4

二輪車に乗っている生徒に、二輪車の安全運転教育を届ける。

生涯にわたって事故を起こさない交通社会人を育成

わが国の交通事故削減に寄与

上記の考え方をベースに「高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し」を推進



■ 自工会が発行する高校生への二輪車安全教育制作物

・[原付スクーターSafety Riding!](#)



・[高校生への二輪車安全運転教育好事例2018](#)



・[高校生の二輪車安全運転教育の充実](#)



・[高校生の二輪車\(原付含\)安全運転実技指導マニュアル](#)

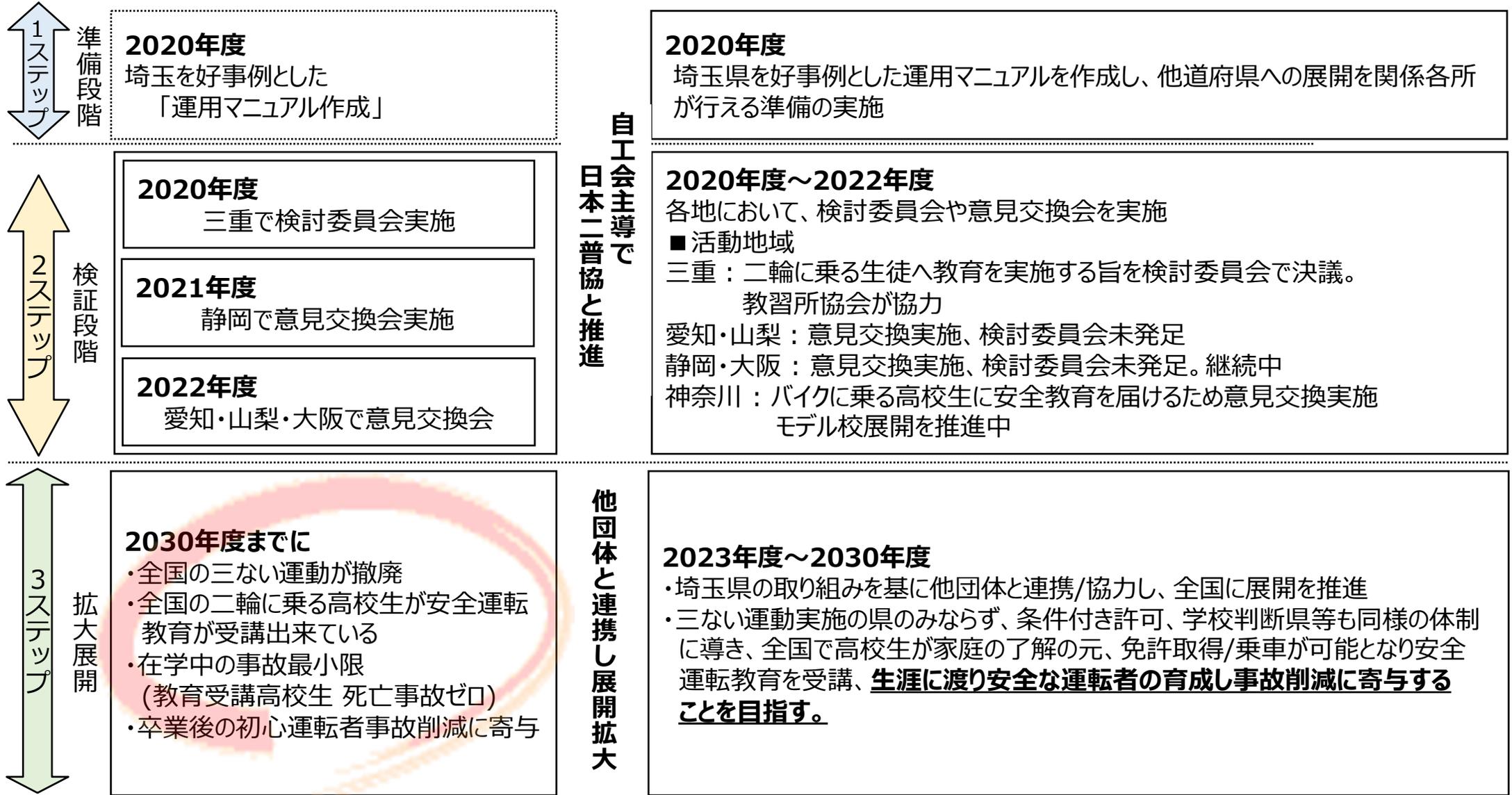


・[埼玉県三ない運動見直しの記録](#)



是非一度ご覧になって下さい。

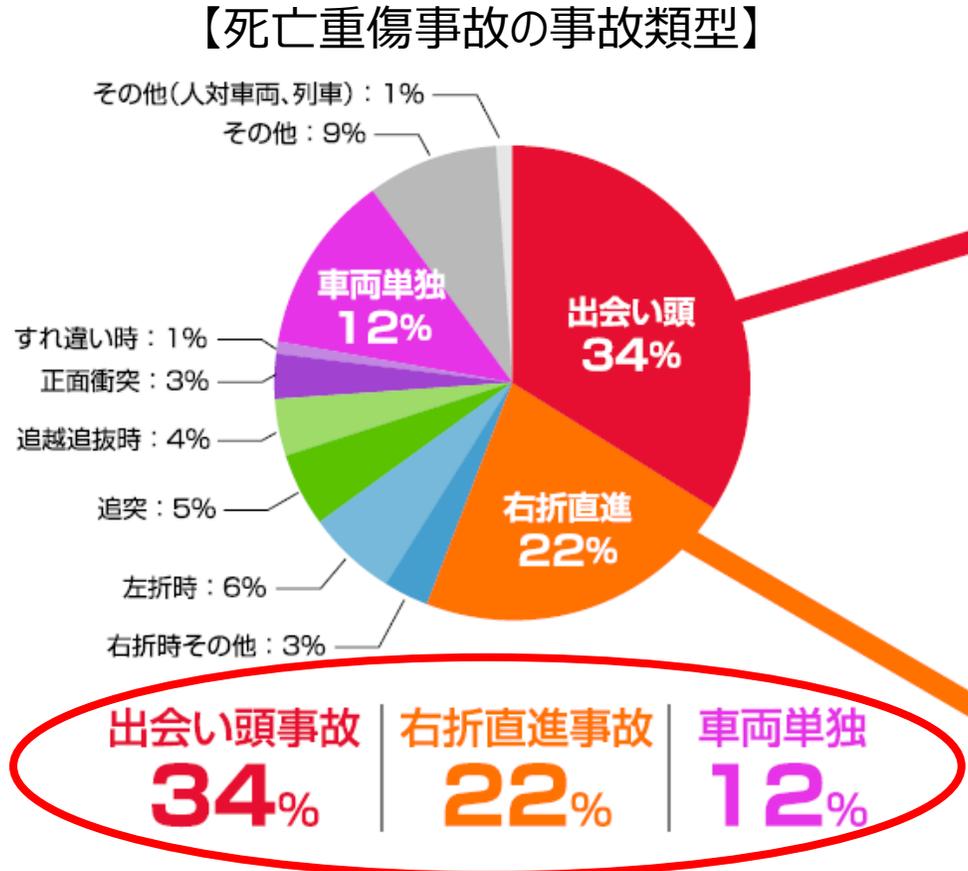
本日は、埼玉県の取り組みについて情報を共有。



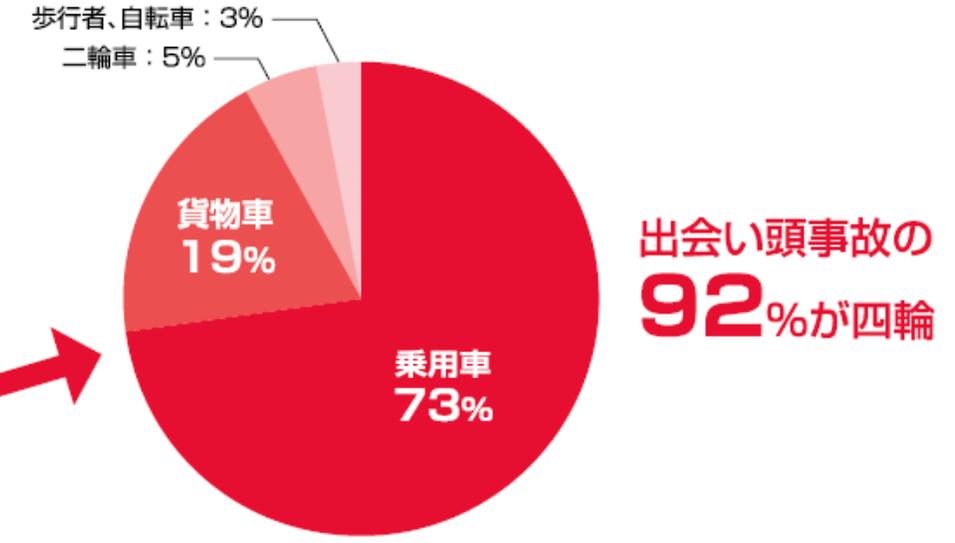
～ 2022年度の自工会 安全教育領域の取り組み紹介 ～

- ① 胸部プロテクター認知度、保有率、着用率調査結果
- ② ヘルメット離脱率削減に向けた取り組み
- ③ 高校生の安全運転教育を前提とした三ない運動の見直し施策
- ④ **二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作**

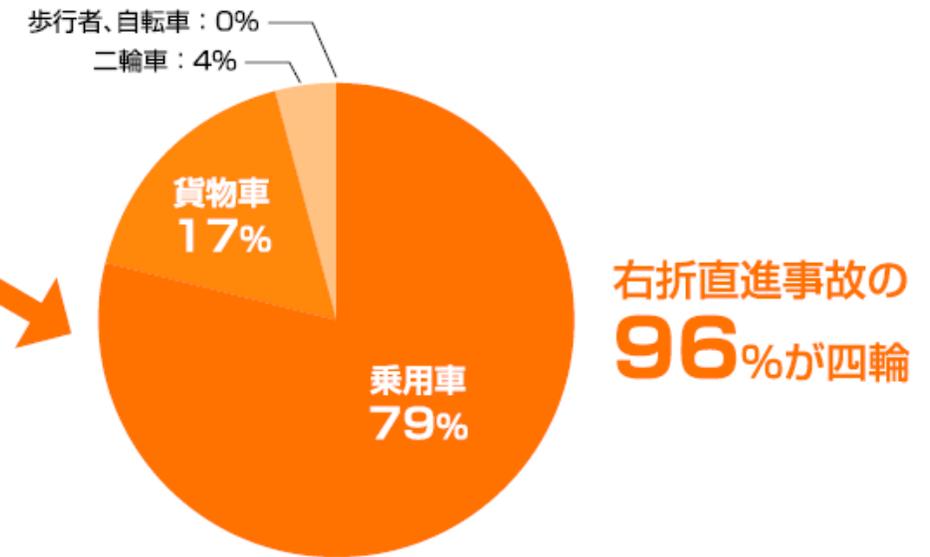
二輪車重大事故削減に向けた啓発映像の制作



【出会い頭 死亡重傷事故の相手】

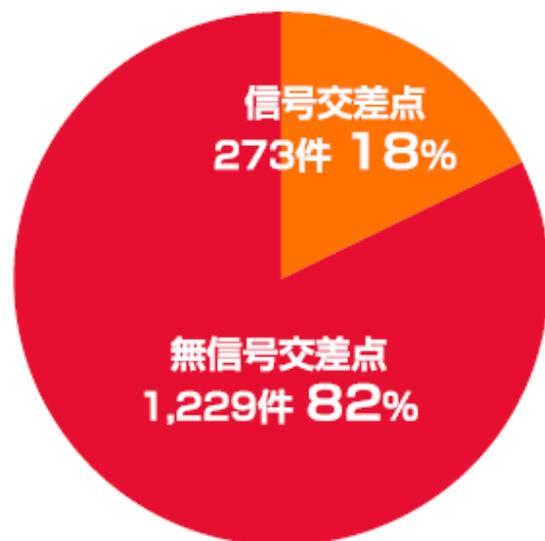


【右折直進 死亡重傷事故の相手】



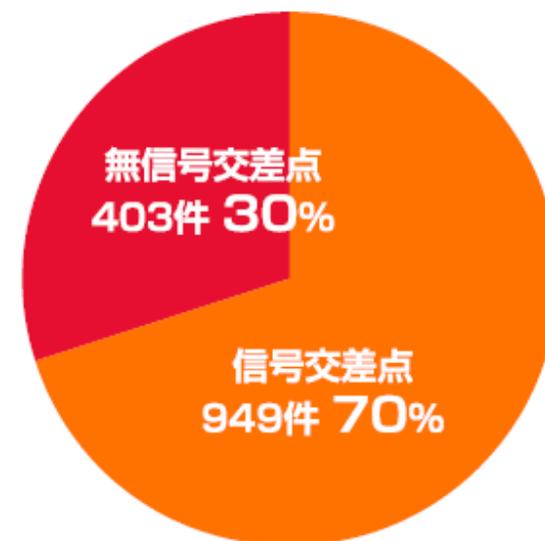
出典:ITARDAデータ(2016年~2020年合計)※自工会調べ

【令和3年 出会い頭死亡重傷事故件数】



出会い頭事故の
82%が**無信号交差点**

【令和3年 右折直進死亡重傷事故件数】



右折直進事故の
70%が**信号交差点**

各施策年度毎のPDCA管理を実施
適宜見直し・追加等を行いながら推進

◆ 二輪ライダーへの安全啓発だけでは限界

※死者数▲50%

優先順	施策	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
■	安全領域ゴール達成に向けた二輪事故死者数の目標 (イメージ▲5%/年)	達成目標 実績：465人 ▲12%	達成目標 実績：455人 ▲23%	達成目標	達成目標	達成目標	達成目標 ：369人	達成目標 ：342人	達成目標 ：316人	達成目標 ：289人	達成目標 ：263人

～ 四輪ドライバーに向け対二輪事故防止啓発が重要

～ 全ての運転者に向けた啓発が必要

1. 四輪ドライバーに向けた安全啓発を推進

～ 自工会 委員会横断プロジェクトで四輪メーカーと連携した推進

2. 関係省庁などと連携した抜本対策を検討

～ 四輪ドライバーへの啓発やヘルメット脱落防止に向けた検討を、関係省庁と連携しながら、

検討委員会やProjectなどの発足働きかけを検討

